

H.28
(2016年)

六月 (今月の掲示板)

真宗大谷派・願成寺

自力(自分の力)と、他力(仏様の力)は1つなのです

私達が『自力(自分の力)』と呼ぶ力は、全てが因縁(原因と条件)による力なのです。例えば、イイ学校に合格したら、『これは自分の力だ。懸命に頑張ったからだ』と考えます。が、善き友達に出会い・良い先生に教わったなど、無数の因縁により生じた自分の力なのです。「自分一人の力で出来た事など、何一つ無かった。全てのものに助けられ・仏様に願われて生かされている私だった」と知るのが『因縁他力』であり、自力と他力は2つの力ではなく・1つです。

親鸞聖人は『他力とは如来(阿弥陀仏)の本願力なり。自然法爾』と説かれました。自然も法爾も、水が下に流れ・煙は上に昇るように、『何事も私の考えを越え、自然の法則通りに間違はなくそう行って行く』の意味です。私達は、『自分の力で思い通りに生きたい』の欲望が強いから苦悩するのです。『人生は成るようになって行く』との、自然な生き方が大切です。

主な参考資料

- (1) 池田勇諦(著)「真宗入門―他力とは①・②」月刊・同朋2014年3・4月号、p.27〜29、東本願寺出版部。
- (2) 松井恵光(著)「三分間法話集―自然法爾」法蔵館、p.43〜45(2012年)。
- (3) 川村妙慶(著)「ほっとする親鸞聖人のことば―自然法爾」二玄社、p.36〜41(2010年)。